

事業実施の目的	保幼小連携・接続に係る取組については、市町によって差が生じている。架け橋期のカリキュラムの在り方及び開発、実践、検証、改善について調査研究を行い、その成果を周知することで、県内全域における保幼小の連携を図り、教育及び保育の質の向上をめざす。
---------	--

事業内容・成果 (R4年度)	<p>1. 主な取組内容について</p> <p>【架け橋期のカリキュラム開発会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学識経験者、幼児教育・保育、小学校教育の代表者、地域の関係者等をメンバーとした。 ○ 年間3回会議を開催した。 ○ 「カリキュラム開発の方向性」「共通の視点例」について協議し、「共通の視点例」として「めざす子ども像」「人のつながり」等を示すこととした。 <p>【架け橋期のカリキュラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 開発会議で協議した「共通の視点例」をもとに、幼児教育長期研修生がカリキュラムを作成し、開発会議に事例提供を行った。 <p>【園・小学校における体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各市町、それぞれの園・小学校によって取組は異なるものの、地域の状況に応じて連携の窓口を一元化したり、幼保小合同会議や研修会を実施したりしている。 <p>【自治体における体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年間3回、県主催の保幼小連携研修会を行った。その中で、架け橋期のコーディネーターが公開保育の内容を取り上げながら、参観者に対して架け橋プログラムや架け橋期のカリキュラムについて具体的な指導を行った。 ○ 年間2回、市町教育委員会保幼小連携担当指導主事や幼児教育・保育主管課担当を対象とした研修会を行い、各市町の保幼小連携に係る取組が進むようにした。 <p>2. 主な成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年間3回の研修会により、参加した教員が保幼小連携・接続の重要性やよさを実感することができた。特に、課題であった小学校教諭の幼児教育・保育への理解を深めることができた。 ○ 保幼小連携に係るリーフレットを作成し、県内全域に配付するとともに研修会や所管説明等で活用することにより、県内の先生方が保幼小連携の要旨やイメージをもつことができつつある。
-------------------	--

事業実施地域・協力園校 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 架け橋期のカリキュラムへの理解を深める研修会及び幼児教育・保育と小学校教育の相互理解を深める研修会実施協力園 <ul style="list-style-type: none"> ・和木町立こども園 ・山口市私立保育所 ○ 幼児教育長期研修派遣園 <ul style="list-style-type: none"> ・山口市立幼稚園 ・宇部市私立幼稚園 ・下関市私立こども園 	今後の目標 (R5年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 協力地域・協力園・協力校によるカリキュラムの作成・実践・検証・改善 <p>協力地域・協力園・協力校は、令和5年度幼児教育・保育長期研修の派遣園と研修生の所属校とする。</p> ○ 架け橋期のコーディネーターによる協力地域・協力園・協力校に対する具体的且つ即時的な助言や支援 ○ 保幼小連携に係る資料の作成
-----------------------	--	-----------------	---

架け橋期のカリキュラムの共通の視点について

【山口県として共通の視点例】（案）

- 子どもたちの現状
- めざす子ども像
- 育みたい力（ねらい）
- 育ちと学びのつながり（園での活動と教科）
- 人のつながり
 - ・ 子ども同士のつながり（交流活動）
 - ・ 先生同士のつながり（合同会議・研修会）
 - ・ 家庭とのつながり ・ 地域とのつながり
- 指導上の配慮事項（「つながり」に関するもの）
 - ・ 先生の関わり ・ 環境の構成

※R5.12.21差し替え

架け橋期カリキュラム(山口市立大内幼稚園)

めざす幼児像		●元気な子供・・・夢中になって友達と元気に遊ぶ ●がんばる子供・・・最後まであきらめず、やりぬく ●やさしい子供・・・自然や友達、身近な人々との触れ合いを深め思いやる気持ちをもつ														
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4~				
期	10期(4月~5月中旬)			11期(5月下旬~7月)			12期(9月~11月上旬)			13期(11月中旬から1月)			14期(2月~3月)			
ねらい	○年長になった喜びを感じ、自尊心をもち、自信をもって生活する。 ○好きな遊びを見つけ、気の合う友達と一緒に楽しむ。 ○身近な自然に関わり、興味や関心を広げる。			○自分なりの目的をもって、試したり工夫したりして遊ぶ。 ○思いを伝え合ったり協力したりしながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ○身近な自然や動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気付いたり大切にしたりする。			○自分の力を発揮しながら、友達と共通の目的を見出し、いろいろな活動に取り組む。 ○友達の思いやよさに気付く、認め合って生活をする。 ○秋の自然に興味・関心をもち、美しさや不思議さに感動したり、生活や遊びに取り入れたりする。			○自分らしさを発揮しながら、目標をもって取り組み充実感を味わう。 ○共通の目的に向かって、友達と工夫したり協力したりして意欲的に学ぶ。 ○季節の行事や伝承遊びに興味や関心をもち、取り入れて遊ぶことを楽しむ。			○一年生になることへの期待が高まり、自信をもって生活する。 ○生活や遊びに見通しをもち、友達と一緒に自発的に進める。 ○経験したことを活かしながら、友達と協力して遊ぶを進める。 ○日差しや風の暖かき、草木の芽吹きなど季節の変化に気付く、春の訪れを感じる。			レインボー(架け橋)
内容	○年長児としての自覚をもち、思いやりをもって、年中児に接したり、遊んだりする。 ○生活や遊びの中で必要な言葉が分かり、思いを伝えたり、聞いたりする。 ○新しい遊びをやってみようとして、今まで親しんできた遊びを気の合う友達と楽しんだりする。 ○身近な春の自然や動植物に関心をもち、遊びに取り入れたり、世話をしたりする。			○自分なりの目標をもって、いろいろな遊びに挑戦する。 ○友達と相談したり、力を合わせたりして、自分たちで遊びや生活を進めていく。 ○身近な生き物に親しみを持って接し、図鑑で調べたり飼育をしたりする中で、命の尊さに気付く大切に扱う。			○多様な動きを経験しながら運動遊びをする。 ○友達と目的をもって遊びに取り組み、相談したり、工夫したりして遊びを進めていく。 ○友達と遊ぶ中で仲間意識をもち、一人一人の思いやよさに気付く、一緒に考えながら遊びを進める。 ○秋に自然に触れ、美しさや不思議さを感じたり、遊びや生活に取り入れたりする。			○自分なりの目標をもち、いろいろなことに意欲的に取り組む。 ○共通の目的に向かって考えを出し合い、互いに認め合いながら役割を分担して遊びを進めていく。 ○文字や数量・図形に関心をもち、生活や遊びの中で使ってみようとする。 ○伝統的な季節の行事や文化に親しみ、友達と一緒に伝承遊びを楽しむ。 ○自然の変化を感じ取り、好奇心や探究心をもって発見したり試したりする。			○卒園することを自覚し、自信や誇りをもって生活しながら、一年生になることを共に喜び合う。 ○園生活を振り返り、いろいろな人にお世話になったことに気付く、感謝の気持ちを伝える。 ○経験したことを活かしながら、友達と協力して遊ぶを進める。 ○日差しや風の暖かき、草木の芽吹きなど季節の変化に気付く、春の訪れを感じる。			①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性 ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の非生え ⑦自然との関わり ⑧数量や図形 ⑨豊かな感性と表現 ⑩豊かな表現
活動の例(行事)	*挨拶・排泄・持ち物の始末・食事の仕方を見直す(弁当風呂敷を使う) *安全な登降園をする *当番活動をする *年中児の世話をする *砂場で遊ぶ(山づくり・穴掘り・まごこと) *リズムに合わせて遊ぶ(年中児で経験したダンス) *かいたりつくったりする(共同こいのぼり) *戸外で遊ぶ(鬼ごっこ・エンドレスリレー) *集団遊び(たけのこいっばん・いすりゲーム) *園外に出かける(近隣の公園・ザリガニつり) *春の自然で遊ぶ(たけのこで遊ぶ・豆苗・まごこと) *虫を飼育する(アオムシ・ダンゴムシ) *野菜の収穫をする(イチゴ・ナスナップエンドウ) *野菜を植える(ピーマン・キュウリ) *絵本(『さきかきのおうさままっかちゃん』) *歌(『さんば』) (始園式・入園式・健康診断・交通安全教室)			*菌磨きをする *水分補給をする *梅雨期の生活の仕方を知る (雨具の扱い・方・室内での過ごし方) *ボールの使い方を確認する・水筒の始末をする *運動遊びをする(サーキット遊び・巧技台・鉄棒) *プールで遊ぶ(顔つけ・ウツ足・伏泳姿) *楽器遊び(打楽器・ハンドベル) *かいたりつくったりする(七夕飾り・おみこし) *泥の遊びをする(草花の色水・水鉄砲・ジャポン玉) *水遊び(泥んこ遊び) *砂で遊ぶ(シヤボム) *ダンボールで遊ぶ(忍者屋敷をつくる) *小動物を飼育する(ザリガニ・カタツムリ・カエル) *花壇や畑の世話をする *芋の苗をさす *野菜の収穫・クッキングをして食べる(カレー) *絵本(『どろんこハニー』) *歌(『かえるの合唱』輪唱) 『七夕会』夏祭り)			*衣服の調節をする *ハンカチを使う *身の回りを整理する *夏休みの経験話す *運動遊びをする(サーキット遊び・かいつこ) *ルールのある運動遊びをする (リレー・つなひき・玉入れ・しっぽとり) *ページェント(野外劇)をする *秋の自然物で遊ぶ (飾りをつくる・じゅず玉通し・こま・コリントゲーム) *園外に出かけ、実りの秋を体験する (木の実かき・リング狩り・芋掘り) *クッキングをする(豚汁・焼き芋) *虫とり(バッタ) *種とり(オクラ・アサガオ) *絵本(『おきなのおきなおいも』・『もたちや』) *歌(『たんぼのめかね』創作) 『運動会』芋掘り・遠足)			*寒さの中で生活の見直しをする (防寒具の始末・手洗い・うがい) *表現遊びをする(劇・合奏・OHPを使った影遊び) *遊びの中で必要なものをつくる *戸外で体を動かす(ドッジボール・マラソン・縄跳び・サカケ) *正月遊びをする(カルタ・こま・すくろく・扇揚げ) *ことばあそび(なぞなぞ・しりとり) *ことば遊びをする(郵便屋さん) *晩秋の自然物に触れて遊ぶ(落ち葉を見立て) *水栽培をし、生長の様子を見る(ヒヤシンス) *冬の自然に触れて遊ぶ(霜柱・氷・雪・つらら) *絵本(『11びきのねこくろのなか』・『十二支のはなし』) *歌(『うたえんパン』・『十二支の』創作) 『発表会』クリスマス会)			*生活の見直しをする (早寝早起き・食事・持ち物の始末・靴を履く・配物を折る) *飼育物の引継ぎをする *小学校へ授業見学に行く *卒園の準備をする(作品の整理・掃除) *挨拶や感謝の言葉を言う *かいたり、つくったりする (ひな形・大きなくた・自分・年中児のプレゼントづくり) *ことば遊びをする(お店屋さん) *楽しくた遊びをする (ページェント・リレー・鳴子・だるまさんがころんだ) *春探しをする(つくし・梅の花・菜の花・アオムシ) *絵本(『おきくおきくおきく』・『ねんくみの1にち』) *歌(『ドキドキ一年生』) 『節分会』ひなまつり会・お別れ会・卒園式)			
○環境の工夫	●安定した園生活が送れるように一人一人の気持ちを受け止め、気の合った友達と好きな遊びがでるよう援助していく。 ○生活習慣や園生活の友達を見直す。 ○当番活動の内容について話し合いをもち、期待をもって取り組めるようにする。 ●体を動かして遊ぶ心地よさや楽しさを味わえるように、教師も戸外と一緒に遊ぶ。 ●年中児との関わり様子を見守り、意欲的な姿を認め必要な時は援助する。 ●友達と関わることで必要な言葉に気付かせたり、挨拶をかわす心地よさや大切さを知らせたりする。 ○気の合う友達との遊びを大切にしながらも、様々な友達と関わるように、クラス全員で遊びを楽しめる時間と場を設ける。			●衛生面に留意し、汗の始末や水分補給の大切さを知らせ、自分から行動できるように促す。 ●自分なりの目標に向かって自発的に取り組んだり、試行錯誤しながらあきらめずやり遂げようとしていた姿を認め自信がもてるようにする。 ○プールでは、安全に遊べるように使い方や決まりを確認する。 ●教師も一緒に楽しみなが試したり工夫したりする面白さに気付くようにする。 ●子ども同士がアイデアを出し合い自分たちで遊びを進めようとする場面を大切に、価値づける。 ●思いを伝え合っている様子を見守りながら、必要に応じて助言や仲立ちをする。 ○友達同士でリズム打ちを楽しめるように簡単な楽器が自由に使える場を設け、使い方を知らせる。 ○夏野菜の栽培や花壇の水やりなどを一緒にする中で、成長や「食」に関心をもてるようにする。 ○飼育している生き物の世話の仕方を伝えたり、成長の気付きに共感したりし、愛情をもって関わるようにする。 ○七夕の由来を伝え、伝統行事や夏夜などに関心をもてるようにする。			●友達の前で、思いがかわるよう援助する。 ●友達と一緒に運動遊びを取り組めるような場や道具・用具などを準備し、多様な動きを経験する中で体の動きを調整できるように配慮する。 ●自分なりの目標に向かって挑戦したり頑張ったりする姿を認め、自信がもてるようにする。 ●子ども同士で協力し合う姿を認め、やり遂げた喜びが味わえるようにする。 ○共通のイメージをもち、表現遊びが楽しめるようにおまげやパーツ、音楽などを準備する。 ●表現したいという子どもの気持ちを大切に受け止めながら、工夫したり考えたりする姿を認め、促す。 ○ぶつかり合いや意見の食い違いに寄り添い、解決したり振り返りできるように気持ちに寄り添い、見守りたり一緒に考えたりする。 ●いろいろな造形遊びが楽しめるように、自然物や材料などを準備する。またホットボンドなど用具の扱いについては危険のないように十分配慮する。 ○集めた木の葉や木の葉を分類し、形や種類の違いに気付けるように声をかけたります。 ○芋掘りや果物狩りの体験を通して、実りの秋に感謝の気持ちをもてるよう話をし、「食」に関して興味や関心をもち、進んで食べようとする気持ちが育つようクッキングの機会を設ける。			●健康に生活するために、衣服の調整やうがい・手洗いの必要性を確認し、自分から進んでできるようにする。 ●体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにするとともに、自分たちでルールを考え、遊びを進めていくことを姿を認める。 ●自分なりに挑戦したり頑張ったりしている姿を見守り、ついでに、工夫しているところを認め自信がもてるようにする。 ●文字や数量・図形に関心をもち、生活や遊びにそれぞれに応じた環境を整え、援助をする。 ○一人一人の考えやイメージを丁寧に受け止めながら、クラスみんなで共有し、さらに発想が広がるように話し合う場を設け、いろいろな表現遊びが楽しめるようにする。 ●友達の歌声や楽器の音に気付くことで、合わせ心地よさを感じられるようにする。 ●共通の目的に向かって、みんなで協力したことをともに喜び、互いに認め合うようすることで、やり遂げた満足感や達成感を味わえるようにする。 ●自然の変化への驚きや発見、感動に共感する。 ●伝統的な行事や文化について話をし、伝承遊びを楽しめるようにやり方を教えたり、励ましたりする。			●卒園に向けて園生活を振り返り、思い出を話し合いながら互いの成長やいろいろな人にお世話になったことに気付く、自信や感謝の気持ちにつながるように配慮する。 ●小学校について話したり、小学生と関わったりする機会を通して、就学に期待と希望がもてるようにする。 ●子どもと一緒に見通しをもって遊びや行事の計画を立て、残りの園生活が充実するようにする。 ○イメージしたものがつくられるように、様々な材料や用具を用意する。 ○友達と一緒に今まで経験できなかった遊びを思う存分楽しめるように、場や十分な時間を設ける。 ●子供が考えたり決めたことを受け止め、やり遂げられるよう援助する。 ●友達と一緒に遊びを進めたり、問題を解決しようとしていた姿を見守り認める。 ○文字や数字への興味を大切に、いつでも見たり使ったりできるような環境を用意しておく。 ●当番活動の仕方を年中児と一緒にしながら伝えたり、教えたりする機会をもち、 ●自然に触れる中で春の訪れに気づいたり、感じたりしたことを伝え合ったりする。			
○教師の援助	●時期や季節に合わせた環境を用意し、子どもたちが興味・関心をもち、主体的に関われるようにする。(四季の自然物や扱うための道具・ダンスや体操の曲・様々な廃材・製作のための素材や道具・運動道具・図鑑や絵本など) ●教師がすぐに教えたり、説明したりするのはなく、子どもの姿を見守り、「どれにしたい?」「どのようにしたい?」「なぜかな?」と尋ねたり、自分の思いやこれまで経験、学びを生かせるようにする。 ●日々、遊びの振り返りを大切に、子どもたちの思いを明日に生かした活動が展開できるようにする。															

※ R5.12.21差し替え

架け橋期カリキュラム(山口市立大内南小学校)

めざす児童像	<ul style="list-style-type: none"> ●自分から興味をもって学ぶ子 ●誰とも温かく助け合う子 ●笑顔でやり抜く元気な子 ○目標をもって学習や健康・体力づくりに励む子 ○友だちと進んでかかわり合い、学び合うことができる子 ○やさしい言葉遣いができる子 ○誰とも仲良く、働ける子 ○いじめを許さない子 ○学校・家庭・地域でしっかり挨拶ができる子 ○社会や学校のルールを守る子 ○時間を守って行動できる子 ○マナーを守って食事できる子 ○人の話をしっかりと聴ける子 ○学習習慣が身につく子 ○自ら進んで学習できる子 ○自分のよさに気づける子 											
～3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
レインボー(架け橋)	1学期前半			1学期後半			2学期前半		2学期後半		3学期	
ねい	1年生になった喜びを感じ、意欲的に学校生活を送ろうとする時期			学校生活に慣れ、安心して自信をもって様々なことに関わり、友達と楽しく過ごす時期			自分の思いや考えを出し合い、学習や生活が充実する時期		同じ目的に向かって、友達と力を合わせて活動に取り組む時期		1年間の活動を振り返って自信をもち、2年生になることへの期待が高まる時期	
幼児期の終わりまでに育てほしい姿	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校の約束やマナー、ルールなどを理解し、安全に生活する。 ○自分の思いを表現したり、新しい知識を得たり、発見の楽しさを感じたりしながら活動する。 ○友達や先生等と関わる楽しさを感じ安心感をもって取り組む。 ○園での経験などを活かしながら、自分でできることや新たなことに取り組む。 			<ul style="list-style-type: none"> ○小学校生活に慣れ、必要な生活や学習習慣、技能等を身につける。 ○先生や友達との関わりを通して一緒に活動する楽しさや喜びを感じ、自分の思いや願いを意欲的に表現する。 ○周りのいろいろな環境(ひと・もの・こと)に興味や関心をもち、自分なりに関わる。 			<ul style="list-style-type: none"> ○初めてのことに進んで取り組み、苦手なことや難しいことにも友達と励まし合いながら、挑戦する。 ○友達の思いや願いに気付く、相手のことを考えながら自分の思いを表現する。 ○自分がやらなくてはならないことを考え、行動する。 		<ul style="list-style-type: none"> ○課題を自分事としてとらえ、その解決に向けて必要な知識や技能を身につける。 ○友達と思いや願いを伝え合ったり、協力したりしながら、一緒に学習や活動を進める。 ○学校や学級の一員として、自分にできることは何かを考えて行動する。 		<ul style="list-style-type: none"> ○1年間の振り返り、身近な人々の支えに気付く、感謝の気持ちをもつとともに、2年生への期待と展望をもち、自信をもって生活する。 ○自分の成長や友達の良さを認め合う大切さに気付く、友達と一緒に課題の解決に向けた学習や活動を進める。 ○自分ができるようになったことが多くあることに気付く、さらにチャレンジして、自分の力を伸ばす。 	
④児童による伝え合い	<ul style="list-style-type: none"> ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性 ⑤社会生活との関わり ⑥豊かな感性と表現力 ⑦自然との関わり ⑧数や図形 ⑨漢字や文字への関心 ⑩読書 											
内容	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校生活にかかわる活動に関心をもち、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりする。 ○学校にはいろいろなきまりがあることを知り、みんなが楽しく学校生活を送れるようにする。 ○時間を守ることに気付き、自分の好きな形や色を使って、思い浮かべたものを表す。 ○友達と一緒に声を合わせて歌ったり、体を動かしながら音楽を聴いたりする。 ○道具の遊び方や約束を知り、順番を守って遊ぶ。 ○名前カードを作って、友達と交流する。 ○仲間集めをして、数を数えたり、大小を比べたりする。 			<ul style="list-style-type: none"> ◎身近な自然や季節の変化に関心をもち、遊びを通して友達と進んで関わったり、遊びを工夫したりして、自分たちの生活を楽しむ。 ○友達の良さに気付く、みんなが仲良く学校生活を送ろうとする気持ちをもつ。 ○体験したことや出来事を文に書く。 ○身近にあるものを使って、いろいろな形を作る。 ○箱の形や色から思いついたものを表す。 ○水に慣れる遊びや浮くもぐる遊びをする。 ○リズムを打ちながら音楽を聴いたり、拍ののってリズムの違いを意識しながら表現したりする。 			<ul style="list-style-type: none"> ◎それぞれが経験してきたことを出し合って、自分たちの生活をより楽しんだり、遊びを創り出したりするともに、身近な環境で学習課題を見つけ、取り組む。 ○身の回りから片仮名で書く言葉を見つけたり読んだり書いたりする。 ○友達の話を聞き、質問したり感想を言ったりする。 ○身近にあるもの長さ、かささ比較する。 ○互いの声や音を聴き合いながら歌ったり演奏したりする。 ○色水をつくることから思いついたことを試す。 ○物語を聞いたり読んだりして思い浮かべたことを絵に表す。 ○マットや器械、器具を使った運動をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ◎自分を支えてくれている家族のことや自分でできることに関心をもち、自分の役割を積極的に果たしたり、自分なりに表現方法を工夫したりする。 ○分かったことを文章などで表す。 ○伝えたことを手紙に書く。 ○色紙や棒を並べたり、点を線でつないだりして、いろいろな形を作る。 ○打楽器の音色の良さや面白さを感じ取って、互いの音や演奏の仕方をくらべながら表現したり、曲全体を味わって聴いたりする。 ○箱や袋を使って入れ物を作る。 ○乗ってみたいものや、行ってみたい場所を思い浮かべながら表す。 ○ボールゲームを工夫して楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ◎自分自身の成長に関心をもち、これまでの生活や成長を支えてくれた人々へ感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもつ。 ○お話のまとまりを捉え、好きなところを探す。 ○何時何分かを読む。 ○わらべうたのよさや面白さを感じ取って友達と一緒に歌ったり体を動かして遊んだりする。 ○身の回りにある材料を並べながら、思いついたことを試す。 ○鬼遊びやボールゲームを工夫して楽しむ。 ○自分の特徴に気付く、長所を大切にしようとする。 	
単元の例(習書)	<p>【生】がっこうだいすきあいうえお いくぞ!がっこうたんけん</p> <p>【国】どうよろしく ききたいなもだちのはなし 【算】わくわくすたあ なんばんめ かずとすじ 【音】うたってなよし みんなであそぼう 【図】好きなものいっぱい すなやつとなよし 【体】ゆうくあそび リズムあそび かっけこーリレー 《運動会》</p> <p>【道】ようこそ!ねんせい がっこうにはね 【学】1年生になって 校内のきまり 学校の行き方 給食の仕方 トイレや水道の使い方</p>			<p>【生】げんきにそでわたしのはな あそびばにでかけよう なつとなかよし</p> <p>【国】あいうえおであそぼう おおきなかぶ 【算】いろいろなかたち たしざん ひきざん 【音】ぶんぶんぶん ことばでリズム 【図】はなはなはな ともひもねんど 【体】みずあそび 【道】みんないっしょ ぼくのあさがお 【学】遊難の仕方 お楽しみ会をしよう</p>			<p>【生】生きもの大すき あきとなかよし 【算】ききたいなもだちのはなしくらぐも 【国】なんじなんじはん おおきくらべ 【音】どれみであいさつ まねっこあそび 《音楽会》 【図】おはなしからうまれたよ カラフルいろみず 【体】マットあそび とびばあそび てつぱあそび 【道】ぼくのごと ダメ 【学】学級の係をきめよう 楽しい社会見学 《社会見学》</p>		<p>【生】ひろがれえがお 【国】かん字のはなし じどうしゃくらべ もだちのことしらせよう 【算】かたちづくり もののいちとかず たしざん② ひきざん② 【音】おどきさし いしきらばし 【図】かざってなにいれよう 【体】はしのうえのおかみ もうすぐ2年生 【学】ボール投げあそび じきゅうそう 《記録会》 【道】どんぐり おうだんぼどう 【学】そそいのにらぬい お楽しみ会をしよう</p>		<p>【生】ふゆとなかよし もうすぐ2年生 【国】たぬきの糸車 どうぶつ赤ちゃん いごいっぺい一年生 【算】大きいかず なんじなんぶん 【音】おちやらか あいあい こいぬのマーチ 【図】かみざらコロコロ いしよにおさんぽ 【体】ボールけりあそび おにあそび 【道】はしのうえのおかみ もうすぐ2年生 【学】パソコン学習 1年間の思い出をまとめよう 6年生を送る会の準備をしよう お別れ会をしよう</p>	
環境の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●45分という時間に縛られず、子どもたちの様子や活動に合わせて弾力的に時間を使ったり、時間の境目をトイレへの声掛けを丁寧にしたりするなど配慮する。→実態に応じて45分の授業に慣れるようにする。 ●幼稚園や保育園で経験したことがある遊びや活動に取り入れるとともに、1年生への期待感や不安感に寄り添ったりしながら、学校生活に慣れるようにする。 ●友達と進んだり、関わったりする活動を通して、その良さや楽しさが分かり、クラスの一員であることに気付くことができるようにする。 ○机の配置や教室掲示等の学習環境に配慮し、「教室=自分の居場所」として意識し、安心感をもって学校生活が送れるようにする。 ○生活科を核とした総合的な指導や体験的な活動を積極的に取り入れる。 ○1日の生活がスムーズに進められるよう、視覚支援を大切にす。 *1日の活動の流れの可視化・時計・文字・絵・写真などを活用してわかりやすく表示する。 *姿勢・片付け・約束などの掲示物は、文字だけでなく写真やイラストを用いて示す。 *ロッカーの使い方、靴箱の使い方、机の中の整理、鉛筆の持ち方、トイレや手洗い場の使い方などについては必要に応じて拡大したり、手順を記したりするなど、表示を工夫する。 											
教師の支援	<ul style="list-style-type: none"> ●2学期の始めには、学校や学級のルールを再確認したり、2学期の目標を立てたりして、生活リズムの回復と気持ちの切り替えを図り、スムーズな学校生活に戻れるように配慮する。 ●学級活動の充実を図り、友達一人一人のことについて、よく知り、より深いかわかりがもてるようにする。 *夏休みの思い出や自分の好きな本の話等を話す場を設け、いろいろな友達と聞かれるようにする。 *みんな遊びや協力して行う活動を設定し、一緒に力を合わせて活動する楽しさを味わえるようにする。 *当番活動や係活動を導入し、自分たちが工夫して活動できるよう声掛けしたり、頑張りや認めたりする。 ●1学期の運動会や、2学期の音楽会、持久走記録会等の行事への取り組みを通して、友達と体を動かしたり、競ったり、表現したりする楽しさを共有し、チャレンジすることの大切さや達成感などを味わうことができるよう、その過程をしっかりと価値づけ、自信につながるようにする。 ○各教科の学習への興味や関心につながるような本や材料などを事前に準備し、子どもたちが自由に読んだり遊んだりできる場を設ける。 (例) 国語「じどうしゃくらべ」のはたらく自動車の本・「どうぶつ赤ちゃん」の動物に関する図鑑等 生活「秋となかよし」の木の実や葉っぱ、松ぼっくり等(アメリカフウの実や葉は運動場横一緒に拾う) 「ひろがれえがお」の昔遊びの道具(けん玉・お手玉等) ○1年の他のクラスの合同学習やたてわり班の活動を通して、コミュニケーションの範囲を広げ、多くの人のかわかりを作っていく。 											
○子どもたちが自ら気付くことができる場所に学習課題や活動のきっかけになるようなものを準備する。												
●教師がすくなくやり方を教えたり、説明したりするのはなく、子どもたちが「前ははどうしていたかな?」「どうすればいいと思う?」と尋ね、子どもたちに話をさせたり、友達の話に付け加えをさせたりする場面を設け、これまでの園での経験や学びを生かせるようにする。												
●子どもたちの振り返りを大切にしたり、指導に当たるとともに、それを生かした活動が展開できるようにする。												
	2年生以降もつづく											

下関市立勝山小学校区(保育園、幼稚園)架け橋期のカリキュラム R5.1.26

【幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿】
 ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり
 ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、図表や文字などへの関心・感覚

期	1学期				接続前期				接続中期					
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	ねらい	・新しい環境に慣れ、自分たちのしたいあそびを見つけて、友達とのつながりを楽しむ。①②③④⑤⑥ ・自然や身近な環境と触れ合い、自分なりの考え方をもち、あそびを工夫したり、挑戦したりしてあそぶ。①②③④⑤⑥ ・グループで自主的にあそびや仕事に取り組み、課題に挑戦していくことの楽しさを味わっていく。①③④⑤⑥⑦ ・健康、安全に必要な態度を身に付ける。①②④⑤				・友達と一緒に体を十分に動かしながら、さまざまな活動に親しみ、共通の目的をもってあそびや活動を進める。①②③④⑤⑥⑦ ・身近な秋の自然にかかわることで、季節の変化に気付く。⑤⑥⑦ ・身の回りにある素材や自然物を使い、工夫して作った遊んだりして楽しむ。③④⑤⑥⑦				・自分なりに考え、友達と役割分担し、協力しながら遊んだり生活したりする。②③④⑤⑥⑦ ・思ったことや感じたこと、イメージしたことなどを、絵や言葉や身体表現などで表す。③④⑤⑥⑦ ・身の回りの素材や自然物を生活やあそびの中に取り入れ、工夫して遊び、その楽しさや美しさ、不思議さに気付く。③④⑤⑥⑦			・集団生活のリズムが分かり、見通しをもってあそびや生活に取り組む。①②③④⑤⑥⑦ ・冬の自然現象や寒の訪れ、日本の伝統に興味や関心をもち、見たり、聞いたり、話したり、試したりする。③④⑤⑥⑦ ・毎日の生活の中で図形や数、文字だけでなく前後、左右、遠近や特別ななどにも関心をもち、②③④⑤ ・難しいことでも、満足のいくまで取り組み、やり抜ける楽しさや満足感を知る。②③④⑤	
学びを促す活動	餅もちづくり⑦ たけのこ作り⑦ こいのぼり製作⑦ 自由⑦ 野菜の苗植え⑦ 園庭遊具⑦ 砂あそび⑦ 水あそび⑦ ごっこ遊び⑦ ゲーム遊び⑦ ままごと⑦絵本⑦ ブロック⑦積み木⑦ お絵かき⑦塗り絵⑦ 図鑑あそび⑦ 文字の練習⑦	泥あそび⑦ 水あそび⑦ 家庭の日のプレゼント製作⑦ 自由⑦	水あそび⑦ 水鉄砲・シャボン玉⑦ 石積みあそび⑦ おまつりごっこ⑦	プールあそび⑦ 七夕飾り製作⑦ 自由⑦ 野菜の収穫⑦	運動会に向けて かけっこ・ダンス① 総体練習① 競争あそび① ガード① ボンゴン演技① 競争あそび① かけっこ・リレー① 敬老の日のほがき製作①	運動会① 米の栽培①④ どんぐり拾い① 落ち葉拾い① ハロウィン製作①	発表会の小物製作① 鬼ごっこ④ 紙いごっこ④ ボール遊び① 深場でカラー作り① 発表会に向けて 劇あそび⑤⑥⑦ なわとび①	生活発表会① もちつき大会① たき火で焼きいも⑦ クリスマスの飾り製作① クリスマス会①	お正月あそび こまわし④ たこあげ⑦ かるた④ すぐろく④ トラップ④	豆まき④ きよならコンサート④ マラソン大会① マラソン練習① ゲームあそび① 身のままごと① アスレチック①	卒業に向けて すずん片付け⑦ 食事のマナー⑦ 身の回りの整備⑦ 係の仕事の引き継ぎ⑦			
ねらい	・年長になったことの喜びや自信をもち、すすんで年少、年中児と関わりをもつ。②③④⑤⑥ ・異年齢児との交流で優しく接したり、助けてあげたりしようとする。②③④⑤⑥				・小学校に行ったり、交流会で小学生と触れ合うことで、就学に期待をつ。②④⑤⑥ ・みんなで楽しく遊んだり、生活したりするためには、約束やきまりを守ることが大切であると気付き、自分から守ろうとする。②④⑤⑥⑦ ・異年齢児との関わりが深まる中で、上手に接することができるようになる。②③④				・1年生になることへの期待と喜びをもち、自信をもって生活する。①②③④ ・充実した生活を送る中で、クラス集団のあり方を意識して、互いに自主的なあそびや生活を送ろうとしていく。③④⑤⑥⑦ ・意欲的に活動に参加することによって年少、年中児の手本となる。②④⑤⑥⑦					
交流の場	・運動会 ・幼保小連絡会				・小学校探検 ・就学時健康診断				・1年生との交流会 ・小学校体験 ・一日入学 ・幼保小連絡会					
行事	入園式 交通安全教室 泥あそび おまつりごっこ お泊まり会				川あそび 運動会 ハロウィン 深場でカラー作り 生活発表会 クリスマス会				マラソン大会 豆まき きよならコンサート 卒業式					
学期	1学期				2学期				3学期					
接続に向けての留意点	・年長になった実感が持てるよるな環境を子どもと工夫しながら作っていく。 ・文字への理解が高まるよる、視覚を支援した「あいさとお表」を掲示する。 ・クラス全体やグループなど、集団で活動する機会を多くつくり、その中で自己が十分発揮できるよるに見守ったり支援したりする。 ・自分の意見を発表したり、人の話を聞いたりできる場を設ける。 <保護者へ> ・個人懇談を通して、園と家庭での様子を伝え合い連携を図ることで、園児の育ちにつなげていく。 ・全てを手助けするのではなく、身の回りのことなど、子供が自分でしようとする気持ちを支えてもらう。 ・園児の成長している様子や頑張っている姿を具体的に伝え、喜びを共有できるよるにする。				・交流活動を通して、小学校生活の様子に関心をもち、就学への期待がもてるよるにしておく。 ・行事を通して自ら進んで取り組んだ経験を、友達同士で目的をもってあそびをすすめていくこととする意欲へとつなげていく。 ・さまりの必要性を幼児なりに理解できるよるにし、守ろうとする気持ちをもたせる。 <保護者へ> ・園児の良いところや友達との関わりの中で増えてくる課題、その中で育つ人間関係の大切さについて話し合い、職員と保護者が共に子育てをしていく。 ・就学に向けて生活習慣など、園と家庭で見直していく機会をつくり、家庭でも意欲を高められるよるに働きかける。 ・懇談会を通して、幼児の様子や情報交換をし、保護者が就学への意欲をもてるよるにする。				・就学に向けて安心感や期待感をもてるよる、一人ひとりにかかわるよるにする。 ・生活習慣を見直ししていきながら、一人ひとりの成長を認め、主体的に生活できるよるにしていける。 ・役割を果たす過程を認め、力を合わせたことや達成したことへの満足感を味わわせる。 ・幼保小連絡協議会において、子供の様子や家庭環境などについて小学校に引き継ぐ。 <保護者へ> ・小学校で行われる入学説明会を通して、家庭でも入学への期待が高まるよるにする。 ・子供が就学に期待と憧れをもてるよる、余計なプレッシャーを感じないよるに言動に注意してもらい、子供が楽しく話すことを受け止め共感してもらえ。 ・親子で通学路を歩いたり、交通ルールを確認したりするなど、具体的な取組を伝える。					

下関市立勝山小学校区 (勝山小学校) 架け橋期のカリキュラム R5.1.26

【幼児期の終わりまでに育ってほしい100の姿】
 ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり
 ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形・標識や文字などへの関心・感興



めざす児童像	架け橋期				1学期		2学期				3学期		
	4月		5月		6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1週	第2週	第3週	第4週									
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生になったことを喜び、元気に登校する。②③ ・トイレの使い方を知る。①④ ・安全に登下校する。⑤⑥ ・友達や先生と楽しく関わる。① ・給食、掃除など、学校生活に慣れる。①② ・学校のリズムに慣れる。②④ ・学習の約束を身に付ける。④⑤ ・運動会の内容を知り、練習に取り組む。①②③ ・学習に興味をもって、意欲的に学ぶ。⑥⑦⑧⑨ ・1日の流れをつかみ、落ち着いて生活する。②③④ ・学習に興味をもって、意欲的に学ぶ。⑥⑦⑧⑨ 				<ul style="list-style-type: none"> ・45分の授業に慣れ、意欲的に学習に取り組む。⑥⑦⑧⑨ ・すすんで読や当番活動を行う。②③④⑤⑥ 		<ul style="list-style-type: none"> ・みんなに聞こえる声の大きさで話す。③ ・人の話を最後まで、最後まで聞く。⑤ ・簡単な文を書く。⑧ ・黒板に書いてあることをきちんと書き写す。⑥ ・楽しんで読書をする。④⑤ 				<ul style="list-style-type: none"> ・最後まではっきりと順序よく話す。⑤ ・人の話を最後まで大事なことを落とさず聞く。⑤ ・したことや思ったことを簡単な文に書く。⑧ ・学年に応じた本を選び、読書に親しむ。④⑤ 		
活動・単元	生活科「みんな なかよし」③④⑤ 「じぶんで できるよ」②④⑥ 「みんなで できるよ」②③④⑥⑧ 国語「いってんき」 「あつまって はなそう」 音楽「うたって なかよし」 体育「うんどうじょうであそぼう」 「ゆうくをつかってみよう」				生活科「あの まわりの あんげん」④⑤ 「げっこうたんけんをしよう」③④⑥⑧ 国語「どうぞよろしく」 「なてん いおうかな」 「こんないな あつけたよ」 「まきたいな、ともだちのはなし」 「はなのあめ」 音楽「うたっおどってなかよくなろう」 体育「うんどうかいにむけて」		生活科「きせつとあそぼう はるからなつ」 ①③④⑥⑧⑨ 「げっこうたんけんをしよう」 「きれいなはなをさかせたい」 ②④⑥⑧⑨ 国語「わけをはなそう」 「おおきなつた」 「おおきなかぶ」 「すきなもの、なかに」 「こんなことがあったよ」 音楽「はくのにってリズムをうたう」 体育「リレーでまようしよう」				生活科「むかしからつたわるあそびをたのしもう」②③④⑥ 「きせつとあそぼう ふゆ」①②③④⑥⑧⑨ 「もうすぐ2年生」②③④⑤⑥⑧⑨ 国語「すきなところをいつよう」 「これは、なんでしょう」 「いいこといっぱい、1年生」 音楽「にほんのうたをたのしもう」 「みんなであわてたのしもう」 体育「なわとび」		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・誰に対しても自分からすすんであいさつする。②③④⑤ ・学校のまわりを知り、集団生活の基本を身に付ける。①②③④⑤ ・自分の気持ちや思いを先生や友達に言葉で伝える。③④⑤⑥ 				<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に慣れ、先生や上級生の存在に受け、新たな先生や友達とかわるようになる。②③④⑤⑥⑧ ・友達と仲良く遊び、助け合いながらのびのびと活動する。①③④⑤⑥⑧ 		<ul style="list-style-type: none"> ・日課の確認や明日の準備を自分で行うことができる。②④ ・他学年とのふれあいを通じて、これからの自分に期待をもち、自信をもって生活する。②③④⑤⑥ 				<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣や学習習慣を確立する。②④ ・友達の輪が広がり、多くの友達と折り返し合いながら仲良く遊ぶ。①③④⑤⑥⑧ 		
交流・連携	<ul style="list-style-type: none"> ・上級生による朝の会の補助 ・6年生による掃除の補助 ・6年生によるスポーツテストの補助 ・1年生を迎える会 ・6年生による掃除の補助 ・6年生によるスポーツテストの補助 ・幼保小連絡会 				<ul style="list-style-type: none"> ・小学校探検 (年長児との交流) ・就学時健康診断 ・生活科「秋のおもちゃワンド」 (年長児との交流) ・生活科「おもちゃワンド」 (2年生との交流) ・小学校探検 ・幼保小連絡会 (年長児との交流) ・一日入学 				<ul style="list-style-type: none"> ・小学校探検 ・幼保小連絡会 				
行事	入学式 下関いのちの日 参観日 個人懇談 1年生を迎える会 運動会 小中合同引渡訓練 進学会				参観日 社会見学 就学時健康診断 持入大会 個人懇談				参観日 6年生を送る会 卒業式 修了式				
学期	1学期				2学期				3学期				
接続に向けての留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことは自分でできるようにし、自信や自己肯定感を高めるようにする。 ・小学校生活に慣れたり友達を作ったりできるように、児童に寄り添い、学校生活に慣れるようにする。 ・集団生活の基本が身に付くよう、くり返し、分かりやすく指導する。(まわりや時間を守る、お礼を言う、あいさつや返事をするなど) ・児童の実態に応じて、45分の授業に慣れるようにする。(モジュールの活用) ・学習規律が身に付けられるよう視覚的な支援や、モヤリングをする。(姿勢、発表、聞き方、学習用具の使い方、ノートの書き方など) ・生活科を核とした社会的な指導や体験的な活動を取り入れる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の充実を図り、友達と協力する大切さや、楽しさを味わうことができるようにする。 ・校外学習を通して、社会のマナーやルールを体験的に学習し、まわりに対する思いを深める。 ・周年節目の中で楽しく関わったり、役割を果たしたりすることができるようにする。 				<ul style="list-style-type: none"> ・「1年生の3学期」は「2年生の0学期」でもあるので、きちんとした生活態度を身に付けること、学習のまめをしっかりと行うことを徹底する。 ・友達に声をかけたり、手助けをしたりする姿を促し付け、両りにも目を向けることができるようにする。 ・1年間の学習内容の定着を図るとともに、学年が上がることへの期待感を高める。 ・全員で1年間の成長を認め、2年生以降への期待を持たせる。 				
	<保護者へ> ・家庭と連携をとり、生活リズム (早寝・早起き・朝ごはん) や家庭学習、日課をそろえるなどの習慣づけを徹底できるようにする。 ・通信や連絡帳などで密に連絡をとり、児童や保護者の不安が軽減するように努める。 ・個人懇談を通して、学校と家庭での様子や伝え合いの連携を図ることで、児童の育ちにつなげていく。				<保護者へ> ・児童の良いところや友達との関わりの中で増えてくる課題について、教員と保護者が共通理解し、共に育てていく。 ・授業を参観することで、安心感につなげる。 ・個人懇談を通して、児童の様子や情報交換をし、児童のさらなる成長につなげていく。				<保護者へ> ・児童の成長を認め、進捗することを共に喜ぶ。 ・宿題や日課をそろえるの徹底を習慣化する。				

架け橋期のカリキュラム (宇部フロンティア大学付属幼稚園)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
年間行事	はじまりの会 歓迎会	春の遠足	日曜参観日 プール開き	七夕まつり 合宿			運動会 秋の遠足 いもほり	おいもパーティー わんぱくまつり 人形劇観劇 マラソン大会	クリスマス会 もちつき	交通安全教室 どんどこ焼き	豆まき 表現遊び発表会	角笛シロエト観劇 お別れ式 卒園式
ねらい	・年長になったことを喜び、自覚をもつ。 ・年中少児と一緒に遊んだり、親切にしたりする。 ・友だちと一緒に工夫しながら遊ぶ。		・グループ遊びを工夫しながら、誰とでも仲よく遊ぶ。 ・開放感を味わったり、工夫したりしながら、積極的に水遊びを楽しむ。			・戸外で体を十分に動かして、友だちと遊びを工夫しながら思いやり遊び。	・友だちと一緒に共通の目的をもって、意欲的に遊ぶ。	・一人ひとりの力を十分発揮して、表現活動を生き生きと楽しむ。	・友だちと一緒に思いやり遊び、残り少ない園生活を精一杯楽しむ。 ・1年生になる喜びをもつ。			
育てたい幼児の姿	・年長になったことの喜びや期待感が見られる。 ・4歳児からのつながりのある友だちと一緒に遊ぼうとする。 ・新しいクラスへの緊張感や不安感をもつ。 ・年長になったことに自覚と自信をもち、年少、年中児に優しくしようとする。		・集団活動や片付けなどに意欲的に取り組む。 ・遊びに必要なものは工夫して作り、まじらしうことは友だちと伝え合う。 ・新たな友だちが関係が深まるが、互いに気遣いがつたり、考えが伝わりあうことにもある。 ・いろいろな活動や遊び(竹馬、プール、木工、土粘土など)を通して、友だちに目が向いたり、仲間が広がったりする。	・七夕に親しみ短冊に願いを込めたり、七夕飾りに興味を示し、飾りを作ったりする。 ・和太鼓をたたいたり、盆踊りを踊ったりして楽しむ。 ・合宿を楽しみにする。	・夏休みに経験したことを、友だちや教師に伝える。 ・水遊びを楽しんでいるが、涼しくなってくると園庭での遊びが盛んになり、グループで活動する姿も見られるようになる。 ・リレーやクラス対抗の競技等に興味をもって取り組み、運動会を楽しみにする。	・仲間意識が高まり、グループ同士の関わりも見られるようになる。 ・一人ひとりが自信をもって行動できるようになる。 ・自分の思ったこと、考えたことを話し合い、行事に向けて意欲的に取り組む。 ・お店屋さんごっこに興味をもち、喜んで商品作りをする。	・自分達の遊びを十分に楽しみ、年長らしい積極的な姿が見られるようになる。 ・トランプ、カルタなどに興味をもち、いろいろな友達と一緒に楽しむ。 ・リズムミカに表現したり、表現を工夫して動いたりすることを楽しむ。 ・問題が起きた時に自分の思いを相手に伝え、友達も受け止めながら、よい方向に進めていこうとする。 ・劇遊びの中でストーリーや台詞を友達と話し合うようになる。 ・音楽に親しみ、楽器遊びを楽しむ。	・卒園記念作品の内容を友達と話し合い協力して製作しようとする。 ・卒園前に友達と寸劇を惜しんで、今まで好きだった遊びやいろいろな遊びをする。 ・大きくなったことを喜びながら、卒園や入学を楽しみにする。				
教師の援助環境構成	・幼児たちと共に生活の場をつくっていくことを大切に、その過程を通して年長組になった実感がもてるようにしていく。 ・クラス全体の活動では、分かりやすいルールで、友達と触れ合ったり、みんなで盛り上がりたりできるゲームを取り入れる。 ・年長組になった喜びや緊張、不安などの心の動きを受け止め、安心して過ごせるようにする。 ・張り切った何かに挑戦したいと思っている気持ちや、役に立ちたい気持ちを認めて、言葉や態度、具体的な活動を通して支える。		・幼児の動きや興味の方角性を見極めながら、必要に応じて、遊びが更に発展していく用具を整えていく。 ・気候に応じて、幼児の健康に配慮した遊びが行えるような環境を構成していく。 ・トラブルでは、お互いの思いを教師が代弁し、相手に思いが通じるにはどうしたらよいか、気付けるようにする。 ・水遊びでは、物が浮く、流れる、冷たいなどの水の特性に気づき、気持ちよさを感じられるようにする。	・興味をもった運動遊びを友達と一緒に繰り返し楽しめるよう、バトン、竹馬など道具の準備や整備をする。 ・園遊具などについては、教師が安全点検し、狭い方を正しく指導して安全に配慮する。 ・活動意欲の高まりとともに出る競争心、達成感を認め、自信がもてるようにする。 ・日々の様々な出来事について、一人一人の気持ちに寄り添いながら場面や機会をとらえ、内容によっては園側の仲間にも伝えたり、クラスで考えたりする。	・自分なりに挑戦したり、友達と思いや考えを出し合ったりしながら、自分たちで遊びを進めていけるような時間や場を確保し、じっくりと取り組めるようにしていく。 ・秋の自然物を使って、製作したり、遊びに取り入れたりとできるように材料や場を用意し、遊びを知らせていく。 ・その子なりに目標をもって取り組んでいる姿を十分認め、励まし、満足感を味わえるようにしていく。 ・共通の目的に向かっていく時に、思いの違いからトラブルが生じた時は、考えを共通化することの必要性に気付かせるようにしていく。	・トランプやかるた、すごろくなどを通して、文字や数値に興味や関心をもてるようにしていく。 ・劇遊びの雰囲気やさらに高まるように幼児と話し合い、必要な道具、衣装などを、一緒に用意していく。 ・幼児たちの工夫を認め、より楽しくするために、友達と試行錯誤できるように援助する。 ・劇遊びが楽しくなるよう、一人一人の表現を十分に認め、表現を引き出すための言葉掛けをする。また、友達同士、互いのイメージを合わせていくことの必要性に気づき、受け入れ合えるように援助する。	・道具や保育士の準備を一線に行い、移す式を伝える準備を進める。 ・一日の流れや美観的な見通しがもてるようにスケジュールや活動内容を伝えていく。 ・卒業までの時間を大切に、園生活を振り返り、気の合った仲間といる楽しさやクラス全体がつながっている心地よさを幼児たちと共に味わう。 ・教員に向けてスムーズに小学校生活に移行できるように、園生活のリズムを整えていく。					
家庭・地域との連携	・家庭訪問			・保護者懇談会			・ふるさとまつり		・もちつき ・保護者懇談会		・豆まき	・保護者懇談会
幼小連携		・ハッピーこいのぼりプロジェクト								・幼保小連絡協議会		

架け橋期のカリキュラム (宇部市立藤山小学校)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
年間行事	- 入学式 - ハッピーこいのぼりプロジェクト - 交通教室	- 1年生を迎える会 - 交通教室 - 運動会	- 避難訓練 - ブラッシング指導		- 水泳指導		- 社会見学 - 就学時健康診断		- 持久走大会		- 幼保小連絡協議会 - 避難訓練	- 仮入学 卒業式
ねらい	- 1年生になったことに喜びを感じ、楽しい学校生活が送れるようにする。 - 学校生活において、自分のことが自分でできるようにする。 - 学校生活に関わる人・場所・物に関心をもつことができるようにする。		- 学習習慣が定着するようになる。 - 場に応じた態度で行動ができるようになる。 - 自ら健康や安全に気を付けて生活することを意識させる。			- 楽しんで学級活動に取り組めるようにする。 - 活動への興味・関心を高めることができるようになる。 - クラスに愛着をもつようになり、友だちと協力することができるようにする。			- 学校生活において自分の役割を自覚し、学習や学級活動に進んで取り組めるようになる。 - 1年間を振り返り、2年生への進学を楽しみにすることができるようにする。			
育てたい児童の姿	- 気持ちの良い挨拶をする。 - 学級や学校のままりがわかる。 - 生活時間に合わせて行動できる。 - 当番や係の仕事内容がわかる。 - 先生や友達に親しみをもって、関わろうとする。 - 良い姿勢が保てる。 - 話している人を見て、話を聞く。		- 進んで挨拶ができる。 - 学級や学校のままりを守って行動できる。 - いろいろな友だちと活動ができる。 - 友だちの良いところを見つける。 - 自分の考えや思いを伝える。 - 最後まで黙って話を聞く。 - 時間を守り、学習準備をする。 - 新しいことに取り組もうとする。			- 当番や係など自分の役割を果たす。 - 自分とは違う考えも受け入れられる。 - 相手のことを考えながら行動する。 - 話し方に気をつけて、理由などもつけ加えて話す。 - 難しいことにも挑戦しようとする。			- 見過しをもって生活する。 - して良いこと悪いことを判断し、良いと思うことは進んでする。 - より良い方法をクラスで話し合うことにより、問題を解決したり、活動を進めたりすることができる。 - 自分の考えと比べながら聞く。 - 間違えたことやわからないことも、あきらめずに最後までやり遂げようとする。			
教師の援助環境構成	- 幼保園、保育園でなじんだ歌や読み聞かせなどを取り入れ、つなぐりを実施した活動を取り入れる。 - 友達とふれあう活動で一日をスタートすることで、友達づくりに配慮する。 - 児童の笑顔に応じて、少しずつ45分授業に慣れるようにする。 - 生活科を中心とした社会的・実践的な学習活動を取り入れる。 - 題材の絵などを活用し、時間や活動の見通しがもてるようにする。 - 卒業生のときのリーダーとなってやりきった経験などを生かすようにする。 - 音楽、保健活動を通して、やり遂げた満足感や一体感ももてるようにする。		- 挨拶ができていることを褒めながら、意欲付けする。 - 学校や学級での約束やままりなどが守られたときは認め、自分たちでままりを意欲して行動できるようにする。 - 教師や友達との信頼関係が築けるような集団づくりを行う。 - 人間関係の広がりやさまざまな行事を通して学んだことなどを、互いに分かち合える場を設ける。 - 安心して自分の意見が言えるよう、教師が一人ひとりの発言を受け止めるようにする			- 一人ひとりの考えや思いを大切に、友達の思いや考えにも気づき、認めたり受け入れたりすることを大切にできるようにする。 - 発言の仕方や、話型などを提示し、みんなの前で発言するときに自信をもって伝えられるようにする。 - 話し合いのルールや発表のルールを提示することで、安心できる学級作りを行う。 - 2学期の学習を振り返り、3学期に向けて学習内容の定着を図る。			- すぐに教師が教えたり手を出したりするのではなく、一人ひとりの取り組みとする姿勢を認め、友達とのつながりを考慮しながら、助け合えるようにしていく。 - 友達に声を掛けたり、手助けをししたりする姿を価値づけ、周りにも目を向けることができるようにする。 - 1年間の学習内容の定着を図るとともに、学年が上がることへの期待感をもたせる。			
家庭・地域との連携	- 入学式 - 参観日 - 個人懇談会	- 運動会	- 参観日		- コミスタクリーンアップ			- 参観日 - 就学時健康診断			- 参観日	- 卒業式
幼小連携	- 入学式	- ハッピーこいのぼりプロジェクト						- 就学時健康診断		- 幼保小連絡協議会	- 仮入学	